評価項目	令和6年度業務実績に係る意見等								
	法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	
第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置									
1 質の高い医療の提供					井深 委員 海野 委員長				●2病院ともに専門領域に特化した診療機能を担いながら、高度・専門医療の提供に努めていた。
					郷内 委員				【精神医療センター】 ●県内唯一の「精神科救急急性期医療入院料病棟」など、高度専門の医療の提供に努めた。 ●地域包括ケアの推進など地域との連携に努めた。
					佐藤(和) 委員 佐藤(裕) 委員 菅原 委員 富田 委員 正宗 副委員長				【がんセンター】 ●がん拠点病院として集学的治療や在宅療養支援の展開に努めた。 ●優れた人材の確保と育成に努めた。
									●病院再編の嵐の中でも、質の高い医療の提供を目指して頑張ったことは評価に値する。
									●総じて、自己評価が甘めの印象を持ちます。

評価項目	令和6年度業務実績に係る意見等											
	法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等			
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合				
(1)政策医療、高度・専門医療の確実な提供	B	A			井深委員	B	A			【精神医療センター】 ●県内唯一の「精神科救急入院料算定病棟」の効率的な運用を図るため、定期的なカンファレンスを行うことでベッドコントロールを行いながら、民間病院では対応困難な患者の受入れに努めていた。 【がんセンター】 ●がん治療において、放射線治療や化学療法などの集学的治療の促進に努めていた。		
					海野委員長	B	B			【精神医療センター】 ●所定の目標を達成している。 【がんセンター】 ●そもそもの目標値が低く設定されており、達成率は高いが、多くが昨年度とほぼ同程度か若干増加したのみであり、B評価が妥当と考える。		
					郷内委員	B	A			【精神医療センター】 ●県内唯一の「精神科救急急性期医療入院料病棟」として中心的役割を果たしている。 ●長期入院患者の在宅ケアに向けた取組を強化している。 ●慢性重症者に向けた取組を強化した。		
					佐藤(和)委員	B	A			【がんセンター】 ●がんの種類や状態に応じた最適な医療を提供するために、手術、放射線療法、化学療法を十分に提供する体制を整えている。 ●ゲノム医療についての取組も連携病院として実績を上げている。		
					佐藤(裕)委員	B	A			【精神医療センター】 ●措置入院の受入数、県内における受入割合が低下している原因は何だろうか。【資料5 質問事項等1】 ●児童思春期医療は大きな目玉の一つだが、外来患者数の減少が気になった。【資料5 質問事項等2】		
					菅原委員	B	A			【がんセンター】 ●高性能手術支援ロボットが安定的に利用され、診療科も多岐に渡ってきたことは素晴らしい。 ●化学療法の入院者は減少し、外来治療者が増加しているのはがん治療の変容を表している。今後はそれを前提とした計画立案をすべきである。 ●がん診療に特化した力のある病院なのに、発信力が弱いのか、そのことが必ずしも県民に伝わっていないイメージがあり、残念である。		
					富田委員	B	A			【精神医療センター】 ●政策医療としての精神科救急の中核的役割は十分に果たしてきている一方、精神科救急に伴う器質因の鑑別や身体合併症対応の体制充実、政策医療としての児童病床の運用(強度行動障害を有する児童への包括的アプローチ、児童相談所との連携による一次保護・緊急対応入院やレスパイト入院の受入れ等)がどのように進んでいるかを明確にできるとよいと思われます。【資料5 質問事項等3】 ●精神科救急を運営する医療機関が提供する高度・専門医療として修正電気痙攣療法等の導入は今後、検討されてもよいように思われます。【資料5 質問事項等4】 ●以上の点を踏まえて、B評価は妥当と思われます。		
					正宗副委員長	C	B			【がんセンター】 ●高性能支援ロボットの使用、手術、放射線治療、化学療法を組み合わせた集学的治療の実施、がんゲノム医療の推進、緩和ケアの充実等を進めている点で評価される。 【精神医療センター】 ●精神科救急病棟患者数は29,826人と中期計画を上回っているが、稼働率は74.3%に過ぎない。平均在院日数が短縮したためと思われるが、同様に、児童思春期延べ外来患者数も年間4,900人以上に対して3,839人である。定量的評価としてはBではなくCが適切ではないでしょうか。 【がんセンター】 ●手術件数、緩和ケアチーム対応件数などは目標を上回っている一方、(へ)の研究については、科研費獲得件数、額などを含め目標を下回っている。総合的に考え、AではなくBが妥当ではないでしょうか。 ●「がん検診件数」が何を指すのか不明です。受診者数ではないと思いますが。【資料5 質問事項等5】		
県	B	B			●精神医療センターについては、県内唯一の精神科救急急性期医療入院料算定病棟(スーパー救急病棟)を効果的に運用し、措置入院の対応や、精神科救急医療システムでの中心的な役割を果たすとともに、「常時対応型医療施設」として、関係機関と連携しながら当番日以外の受入れにも努めるなど、精神科の基幹病院として、本県に必要な精神医療を提供していることを総合的に評価し、Bと判定した。 ●がんセンターについては、放射線治療や化学療法などの集学的治療の促進に努めるとともに、「エキスパートパネル実施可能ながんゲノム医療連携病院」に承認されたほか、緩和ケアの充実を図るなど、県がん診療連携拠点病院として、本県に必要な医療を提供していることを総合的に評価し、Bと判定した。							

評価項目	令和6年度業務実績に係る意見等												
	法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等				
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合					
(2)医療機器、施設の計画的な更新・整備	A	B			井深委員	A	B						【精神医療センター】 ●精神科医療の基幹病院としての良質な医療提供や医療水準の向上を図るための設備更新については、収支バランスを考慮したうえで、計画的な更新・導入を行っていた。 【がんセンター】 ●高度・専門医療を担う病院として、良質な医療提供や医療水準の向上を図るための設備更新については、収支バランスを考慮し、計画的に設備の入替えを行っていた。 【精神医療センター】 ●屋上防水等改修工事を令和6年度中に完了したことは評価されるが、長年の懸案事項をようやく達成したことであり、所定の目標を大きく上回ったわけではないと判断した。 【がんセンター】 ●目標を達成していると判断する。 【精神医療センター】 ●施設の雨漏り対策防水工事は長年の懸念がようやく解決したもので、目標を達成しているがA評価までは言えないのではないか。 ●医療機器や設備の更新は計画に沿ったものであり、特に大きな更新とは言えないと思う。 【がんセンター】 ●中期計画策定時に沿った施設・設備の更新が行われた。令和6年度の施設、設備更新は高度医療に対応している。
					海野委員長	B	B						
					郷内委員	B	B						
					佐藤(和)委員	A	B						
					佐藤(裕)委員	B	B						
					菅原委員	A	B						
					富田委員	B	B						【精神医療センター】 ●天井からの雨漏りが修繕されたことはよいことですが、最低限の基本的な環境整備がなされたということでB評価ということであれば理解できますが、そのことがA評価の根拠になることは理解し難いように思われます。 ●令和2年以降、脳波計、CT、超音波、心電図、尿検査等の機器の購入が進んできているということですが、これらが有効に使用され、課題である器質因の鑑別や身体合併症の診療が向上していることが明示されるとよいように思います。【資料5 質問事項等6】 ●施設整備計画として、宮城県に災害拠点精神科病院がない現状を勘案して、建替えを待つことなく、精神医療センターがその指定要件を満たす形で必要な改修、整備を行うことを検討してはどうでしょうか。【資料5 質問事項等7】 【がんセンター】 ●ガンマカメラ、磁気共鳴断層撮影装置(3TMRI)、高精度放射線治療システム(リニアック)等の機器購入、真空遮断器更新工事、自動火災報知設備改修工事等が進んでいる点で評価される。
					正宗副委員長	B	B						【精神医療センター】 ●屋上防水等改修工事については、令和5年度に着工されており、令和6年度について所定の目標を上回る成果とすることには、違和感を覚えます。
県	B	B	●精神医療センターについては、計画的に医療機器等の更新・導入及び施設の整備を行った。また、屋上防水等改修工事が完了し、療養環境整備にも取り組んでいることなどから、目標を達成していると評価し、Bと判定した。 ●がんセンターについては、ガンマカメラ、磁気共鳴断層撮影装置及びリニアックなど政策医療に必要な機器を更新するとともに、真空遮断器更新工事を実施するなど、計画的に医療機器等の更新・導入及び施設の整備を行ったことから、目標を達成していると評価し、Bと判定した。										

令和6年度業務実績に係る意見等

評価項目	法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等	
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合		
(3) 地域医療への貢献	A	A			井深委員	B	A			<p>【精神医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域医療連携室を中心に他の医療機関と連携しながら受診・入院受入、地域移行・定着支援を図るなど、より安定的な支援体制の構築に努めていたが、当院に対する患者紹介率が目標値を大幅に下回ったことについての原因追及および対応策検討が求められる。 <p>【がんセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新規に開業した地域の医療機関等に対して、病院との連携を深める目的で登録医制度を積極的に推進し、登録数の積み上げを図っていた。
					海野委員長	A	A			<p>【精神医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域との連携は良好でありAと評価する。 <p>【がんセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●紹介率、逆紹介率とも目標を達成している。
					郷内委員	A	A			<p>【精神医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「地域包括ケアシステム」で地域一体のケアの体制ができています。 ●地域精神保健福祉活動への参画など、地域支援に積極的に取り組んでいる。 ●逆紹介率の目標達成 ●訪問看護、デイケアの件数増加 <p>【がんセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域との連携、外来患者の在宅療養支援の実施 ●紹介率・逆紹介率の目標達成
					佐藤(和)委員	A	A			
					佐藤(裕)委員	B	A			<p>【精神医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●逆紹介率は高かったが、紹介率が大きく減少した原因は何だろうか。【資料5 質問事項等8】 ●紹介率と逆紹介率は地域医療貢献を示す大切な客観的指標であり、自己評価は甘すぎると感じた。 <p>【がんセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●紹介率・逆紹介率ともに目標を上回っており、地域への貢献が伺える。 ●がんセンターの紹介医療機関、逆紹介医療機関の地域性(県内の地域分布)を教えてください。【資料5 質問事項等9】
					菅原委員	A	A			
					富田委員	A	A			<p>【精神医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●政策医療としての精神科救急の中核的役割や精神科医療資源が比較的少ない県南部の地域精神医療を担っている点で十分に役割を果たしてきていると評価されます。 <p>【がんセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●退院前カンファレンス、外来患者の在宅療養支援の調整、地域の在宅診療所、訪問看護STとの連携等、地域包括ケアシステムでの役割 ●FM なとりでのがん情報ラジオ放送、がんセンター広報誌「せりなべ」の充実、地域医療機関の紹介ページを増やし公共機関への配布、名取市図書館内の情報コーナー設置、地域医療連携の会での交流等、地域に密着したがん広報の充実
					正宗副委員長	B	B			<p>【精神医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●紹介率は令和5年度の40.1%に比べて33.5%と減少し、目標達成率も79.8%に留まります。逆紹介率が上昇したことを踏まえても、AではなくBではないでしょうか。
					県	B	A			<p>●精神医療センターについては、地域包括ケアシステムにより、地域の医療機関や行政機関などと連携を図るとともに、訪問看護やデイケアなどにより、地域移行・地域定着支援を行っており、デイケア実施件数や地域移行患者数では目標を上回る成果があると評価するものの、患者紹介率が目標値を大きく下回ったことを鑑みて、総合的に目標を達成していると評価し、Bと判定した。</p> <p>●がんセンターについては、病病・病診連携を推進するため、地域医療連携の会を開催し、地域の医療機関との交流を図ったほか、院長等による近隣病院やクリニックへの訪問を積極的に行い、患者の紹介率が向上する成果を上げた。紹介率、逆紹介率も目標値を超えており、総合的に目標を上回る成果があると評価し、Aと判定した。</p>

評価項目	令和6年度業務実績に係る意見等												
	法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等				
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合					
(4)医療に関する調査・研究と情報の発信	B	B			井深委員	B	B						【精神医療センター】 ●医師のほか、看護師及びコメディカルにおいても、オンライン開催を含む学会発表・参加するとともに、同内容に係る院内への情報発信を励行していた。 【がんセンター】 ●調査・研究の成果を広く県民に伝えるための県民公開講座や認定看護師等による高等学校での講演などを行っていた。
					海野委員長	B	B						【精神医療センター】 ●所定の目標は達成しているが、更なる発展を期待する。
					郷内委員	B	B						【精神医療センター】 ●新規臨床研究審査件数の目標達成 ●学会等への積極的参加
					佐藤(和)委員	B	B						【がんセンター】 ●院内がん登録の活動 ●宮城県がん登録室の活動【がん登録法】学会参加の状況
					佐藤(裕)委員	B	B						【精神医療センター】 ●学会発表、参加及び専門誌への寄稿数が少なかったのは残念である。 【がんセンター】 ●充実した医療を提供しているのに、その存在感が強く・濃く感じられないのは発信力が弱いことが一因ではないだろうか。
					菅原委員	B	B						
					富田委員	B	B						【精神医療センター】 ●調査・研究に関して一定の取組はなされており、B評価としてもよいと考えられる。 ●東北大学との連携大学院の関係や独自の専攻医プログラムを有し、精神医療保健に関する課題解決を含め、これからの精神科医療を担う若手医師を育成する立場であることを考えても、学術論文や学会発表という形も含め、より活発な調査・研究活動に取り組むことが期待される。 ●建替えを機に当事者・家族等の利用者からの意見集約や情報発信の必要性が再認識されたところですが、引き続き、意見集約や情報発信のあり方を工夫していけるとよいと思います。
					正宗副委員長	B	B						【がんセンター】 ●調査、集計した結果の院内で共有・活用、国立がんセンターや外部機関が行う調査への調査結果の提供等を行った。 【精神医療センター】 ●学会発表、参加者数、寄稿件数のいずれも未達です。 ●何人の医師(あるいはスタッフ)による実績でしょうか。発表に対して参加者数の割合が多いのかもかもしれません。【資料5 質問事項等10】
県	B	B					【がんセンター】 ●学会参加などについては、研究所の業績と診療科の実績を分けて出していただけると良いと思います。【資料5 質問事項等11】 ●業務実績等報告書では、延べ人数のみならず、何人の医師あるいはスタッフが参加しているか提示していただくと良いと思います。【資料5 質問事項等11】						
								●精神医療センターについては、調査・研究を推進するため、各種統計データを統計集として作成し、院内での情報共有化などに取り組んだ。また、専門誌等への寄稿件数や学会発表実績などは目標値を下回るものの、倫理審査新規審議件数は目標値を大きく上回っており、総合的に目標を達成していると評価し、Bと判定した。 ●がんセンターについては、がん登録室の活動のほか、医療機関向けセミナーや看護部公開研修会の開催などに取り組んだ。専門誌等への寄稿件数が目標値を下回るものの、学会発表実績などが目標値を上回っており、総合的に目標を達成していると評価し、Bと判定した。					

評価項目	令和6年度業務実績に係る意見等												
	法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等				
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合					
2 安全・安心な医療の提供	B	B	B	B	井深委員	B	B	B	B	<p>【精神医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医療事故発生防止に向けた医療安全管理マニュアルの改訂を行うとともに、全職員対象の研修を複数回行うなど、医療従事者の資質向上に努めていた。 <p>【がんセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●院内で共有されるインシデント・オカレンスレポートを基に院内外の危険箇所のラウンドを行い、改善が必要な点については院内協議を実施のうえ、マニュアル改定等の適切な対応を図っていた。 <p>【本部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各病院のインシデント等の発生状況を取りまとめ、情報共有に努めていたほか、医療安全管理指針に基づいた情報開示を徹底していた。 			
					海野委員長	B	B	B	B				
					郷内委員	B	B	B	B	<p>【精神医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医療安全対策の推進 ●院内感染対策の推進 <p>【がんセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医療安全対策の推進 ●院内感染対策の推進 <p>【本部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各病院のインシデント発生の状況把握 			
					佐藤(裕)委員	B	B	B	B	<p>【精神医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医療安全研修会、管理委員会、感染対策委員会もきちんと開催されている。 ●インシデント・アクシデントレポートを開示していただき、レベル3bといった事案についても概略を紹介して欲しい。【資料5 質問事項等12、13】 <p>【がんセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医療安全研修会、管理委員会、感染対策委員会もきちんと開催されている。 ●インシデント・アクシデント・オカレントレポートについても開示していただきたい。【資料5 質問事項等12】 ●昨年当委員会において問題となった事案についても、事後の顛末を報告して欲しい。【資料5 質問事項等14】 			
					菅原委員	B	B	B	B				
					富田委員	B	B	B	B	<p>【精神医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サイバーセキュリティ対策強化のため、クラウド型セキュリティシステム及びクラウドバックアップを導入した。 ●情報セキュリティ研修会を開催し、情報管理に関する意識の向上を図った。 <p>【がんセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サイバー攻撃を想定した多職種での訓練及び医療情報システムに接続している機器・端末の外部接続点を洗い出し、一覧表を作成、脆弱性診断を実施した。 <p>【本部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2病院ともに所期の目標を達成している。 			
					正宗副委員長	B	B	B	B	<p>【精神医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●院内感染対策研修会の受講率はどうか。 ●職員の院内感染対策やセキュリティ研修会受講率のデータをお示しいただけると良いと思います(職員中、受講した職員の割合は100%でしょうか)。【資料5 質問事項等15】 <p>【がんセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●インフルエンザ予防接種率も未達のままです。何か方策をされていますか。【資料5 質問事項等16】 <p>【本部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●院内感染対策研修会の受講率はどうか。 ●職員の院内感染対策やセキュリティ研修会受講率のデータをお示しいただけると良いと思います(職員中、受講した職員の割合は100%でしょうか)。【資料5 質問事項等15】 			
					県	B	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ●精神医療センターについては、研修会の開催やヒヤリハット事例を基に医療安全カンファレンスで情報共有を図り、事故防止に努めた。また、新興感染症等の発生に備え、研修を実施したほか、サイバーセキュリティ対策強化のためのクラウド型セキュリティシステム及びクラウドバックアップを導入するなど適切に対応していることから、目標を達成していると評価し、Bと判定した。 ●がんセンターについては、医療安全対策の推進に向けて、研修会の開催やマニュアル改訂を行ったほか、インシデント・オカレンスレポートを基に現場確認を行い、事故防止に努めた。また、平時の感染症の発生状況について、サーベイランスの対象を拡大し、感染症発生の評価を充実させたほか、サイバー攻撃を想定した訓練を実施するなど、適切に対応していることから、目標を達成していると評価し、Bと判定した。 ●本部事務局については、各病院のインシデントなどの発生状況の情報発信や適切な情報管理に努めており、目標を達成していると評価し、Bと判定した。 ●上記より、総合してBと判定した。 			

評価項目	令和6年度業務実績に係る意見等												
	法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等				
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合					
3 患者や家族の視点に立った医療の提供	B	B	B	B	井深委員	B	B	B	B	【精神医療センター】 ●精神疾患患者に対する行動制限を行う場合には、本人とその家族に対してより丁寧な説明を心掛けていた。 【がんセンター】 ●緩和ケア病棟の各個室に設置されているアームライトの入替えを行い、入院患者の安全性と快適性を高めていた。 【本部】 ●患者サービス向上に向けた接客研修の実施に努めていた。			
					海野委員長	B	B	B	B				
					郷内委員	B	B	B	B	【精神医療センター】 ●より丁寧なインフォームドコンセントの取得 ●相談窓口への相談件数 ●患者満足度調査の実施 【がんセンター】 ●緩和ケア病棟の改善 ●がん相談支援センターの活動 ●患者満足度調査の実施 ●食事療養の充実 【本部】 ●新任職員対象の接客研修			
					佐藤(和)委員	B	B	B	B				
					佐藤(裕)委員	B	B	B	B	【精神医療センター】 ●様々な取組が行われていて評価できる。 【がんセンター】 ●様々な取組が行われていて評価できる。 ●患者満足度調査の結果はきちんと分析して活用して欲しい。			
					菅原委員	B	B	B	B				
					富田委員	B	B	B	B	【精神医療センター】 ●患者や家族の視点に立った医療の提供を行うべく様々な工夫、取組がなされている。 【がんセンター】 ●患者や家族の視点に立った医療の提供を行うべく様々な工夫、取組がなされている。 【本部】 ●患者や家族の視点に立った医療の提供を行うべく様々な工夫、取組がなされている。			
					正宗副委員長	B	B	B	B	【精神医療センター】 ●患者さんの待ち時間の分数は、平均ですか、中央値ですか。【資料5 質問事項等17】 ●接客研修会の受講率を提示してください。【資料5 質問事項等18】 【がんセンター】 ●接客研修会の受講率を提示してください。【資料5 質問事項等18】 ●参考指標として待ち時間が1時間未満の割合を出されていますが、業務実績報告書に記載の根拠となるデータの提示がありません。提示をしてください。【資料5 質問事項等19】 ●待ち時間調査を年1回以上実施とありますが、具体的な実施回数を記載されてください。待ち時間短縮についての取組はいかがでしょうか。【資料5 質問事項等19】			
県	B	B	B	B	●精神医療センターについては、患者や家族に対して治療目的などの丁寧な説明を行うとともに、患者の待ち時間の短縮や、QOL向上に向けた食事療法の充実などに取り組み、入院・外来指導件数も増加していることなどから、目標を達成していると評価し、Bと判定した。 ●がんセンターについては、がん相談支援センターの充実を図り、出張での相談会も開催したほか、緩和ケア病棟のアームライトの軽量化など、院内環境の整備に取り組んでいることなどから、目標を達成していると評価し、Bと判定した。 ●本部事務局については、病院利用者の利便性・快適性の向上に向けて新任職員に対する接客研修の実施などに取り組んでおり、目標を達成していると評価し、Bと判定した。 ●上記より、総合してBと判定した。								

評価項目	令和6年度業務実績に係る意見等												
	法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等				
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合					
4 人材の確保と育成	B	B	B	B	井深委員	B	B	B	B	【精神医療センター】 ●協力型臨床研修病院として、仙台市立病院等から臨床研修医の受入れを行い、人材育成に努めていた。 【がんセンター】 ●各種研修会への参加や外部研修機関への研修派遣、WEBを利用した学会等への参加を通じて、資質向上に向けた取組を行っていた。 【本部】 ●看護師採用試験の応募者確保対策として、看護師養成校訪問のほか、合同就職説明会への参加、就職情報サイトへの情報発信、インターンシップの受入れ、病院見学会の実施等、積極的な広報活動に努めていた。			
					海野委員長	B	B	B	B				
					郷内委員	B	B	B	B	【精神医療センター】 ●医師の確保、研修医の受入れ ●学会参加件数の増加 【がんセンター】 ●医師の確保、研修医の受入れ ●学会参加件数は目標以下 【本部】 ●認定看護師・専門看護師の資格取得支援			
					佐藤(和)委員	B	B	B	B				
					佐藤(裕)委員	B	B	B	B	【がんセンター】 ●看護師の採用数が少なく、数の不足はないか心配である。【資料5 質問事項等20】 【本部】 ●看護師の採用に力を入れてほしい。			
					菅原委員	B	B	B	B				
					富田委員	B	B	B	B	【精神医療センター】 ●東北大学等から実習・研修生の受入れ、看護師養成校訪問やインターンシップ受入れなどが行われている点は評価される。 ●連携大学院講座への学生受入れや大学院・研修プログラムを通じた連携は更に活性化させられるとよいと思われる。 【がんセンター】 ●人材確保に向けた取組は評価される。 【本部】 ●人材確保に向けた取組は評価される。			
					正宗副委員長	B	B	B	B	【精神医療センター】 ●採用者数などを提示していますが、そもそも全医師数は何人なのでしょう。【資料5 質問事項等21】 ●退職医師数も提示された方がよいと思います。結局、医師数が増えたのか、減ったのか判断できません。【資料5 質問事項等21】 【がんセンター】 ●採用者数などを提示していますが、そもそも全医師数は何人なのでしょう。【資料5 質問事項等21】 ●退職医師数も提示された方がよいと思います。結局、医師数が増えたのか、減ったのか判断できません。【資料5 質問事項等21】 ●専攻医については、ここ数年の専攻医で、引き続きがんセンターに就職した方はおられましたか。【資料5 質問事項等22】 【本部】 ●看護師の採用数が16人と大幅減に見えますが、採用予定数を本当に確保できたのでしょうか。【資料5 質問事項等23】 ●医療従事者の採用数も8人から2人と大幅減に見えます。【資料5 質問事項等23】			
					県	B	B	B	B	●2病院においては、医師の採用や研修医の積極的な受入れを行うとともに、学会参加や各種研修の開催など、資格取得に向けた取組を行った。また、臨床教育や研修の場として、医療系学生の受入れを行っており、目標を達成していると評価し、Bと判定した。 ●本部事務局については、医師や看護師の育成対策を積極的に推進するとともに、看護師確保のために看護師養成校訪問のほか、合同説明会の参加など積極的に広報活動に努めた。また、職員の資質向上に向けた研修の開催など、適切に取り組んでいることから、目標を達成していると評価し、Bと判定した。 ●上記より、総合してBと判定した。			

評価項目	令和6年度業務実績に係る意見等												
	法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等				
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合					
5 災害等への対応	B	B	B	B	井深委員	B	B	B	B	【精神医療センター】 ●災害派遣精神医療チームの活動として、技能維持研修や訓練に積極的に参加していた。 【がんセンター】 ●災害発生に備え、感染症に対する医療提供体制確保への必要な措置に関する協定を締結していた。 【本部】 ●職員の安否確認システムの活用訓練や無線機の通信訓練を行うなど、災害時における通信方法の確認を行っていた。			
					海野委員長	B	B	B	B				
					郷内委員	B	B	B	B	【精神医療センター】 ●災害対応マニュアルの備え 【がんセンター】 ●災害対応マニュアルの備え 【本部】 ●災害対応マニュアルの備え ●防災訓練の実施			
					佐藤(和)委員	B	B	B	B				
					佐藤(裕)委員	B	B	B	B				
					菅原委員	B	B	B	B				
					富田委員	B	B	B	B	【精神医療センター】 ●DPAT先遣隊の活動として技能維持研修や国が実施する大規模地震時医療活動訓練への参加、訪問看護事業所における事業継続計画の策定を行っている点は評価される。 ●激甚災害の発生に備え、建替え前の状態で災害拠点精神科病院の認定を目指すことを検討することが望まれる。 【がんセンター】 ●諸般の取組は評価される。 【本部】 ●諸般の取組は評価される。			
					正宗副委員長	B	B	B	B				
					県	B	B	B	B	●精神医療センターについては、DPAT先遣隊の活動として、国が行う訓練に参加したほか、技能維持研修へ参加するなど、積極的に活動を行い、適切に取り組んでいることから、目標を達成していると評価し、Bと判定した。 ●がんセンターについては、新たに県と協定を締結し、感染症に備えるとともに、備蓄食料の適正管理や消防訓練の実施など、適切に取り組んでいることから、目標を達成していると評価し、Bと判定した。 ●本部事務局については、各種訓練の実施や災害マニュアルなどの確認のほか、災害時の通信方法の確認を行うなど、適切に取り組んでいることから、目標を達成していると評価し、Bと判定した。 ●上記より、総合してBと判定した。			

令和6年度業務実績に係る意見等

評価項目	法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等	
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合		
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置										
1 業務運営体制の確立				B	井深委員				B	●業務運営体制の確立に向けて、会議・委員会を定期的に行い、情報共有及び諸問題解決に努めていた。
					海野委員長				B	
					郷内委員				B	●病院経営の情報の共有 ●患者満足度による業務改善
					佐藤(和)委員				B	
					佐藤(裕)委員				B	
					菅原委員				B	
					富田委員				B	●諸般の取組は評価される。
					正宗副委員長				B	●患者さんの声は、委員会や部会以外、執行部や全職員で共有されていますか。【資料5 質問事項等24】
県				B	●定期的に各種会議を開催の上、外部講師による病院経営に関する研修会の実施のほか、外部機関の経営診断を受けるなど、効率的な業務運営の推進、経営改善に取り組んでおり、目標を達成していると評価し、Bと判定した。					

評価項目	令和6年度業務実績に係る意見等												
	法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等				
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合					
2 収益確保の取組	B	B			井深委員	B	B						【精神医療センター】 ●レセプト査定率の削減や未収金縮減に努め、収益向上に向けた積極的な取組を実践していた。
					海野委員長	B	B						【がんセンター】 ●後発医薬品への切替えやリハビリテーション単位数の増加、入院期間の標準化など、増収に係る各種取組を実践していた。
					郷内委員	B	B						【精神医療センター】 ●精神科救急医療システム事業を県から受託 ●外来収益の増加を達成
					佐藤(和)委員	B	B						【がんセンター】 ●レセプト査定率改善、後発医薬品への順次切替え ●入院収益の増加を達成
					佐藤(裕)委員	B	B						【精神医療センター】 ●外来・入院収益ともに昨年を上回る水準だった。 ●治療における比重が入院よりも外来が大きくなりつつあることを踏まえた目標値の設定が必要と感じた。
					菅原委員	B	B						【がんセンター】 ●外来・入院収益ともに昨年を上回り高水準だった。 ●治療における比重が入院よりも外来が大きくなりつつあることを踏まえた目標値の設定が必要と感じた。
					富田委員	B	B						【精神医療センター】 ●諸般の取組は評価される。
					正宗副委員長	B	B						【がんセンター】 ●諸般の取組は評価される。
					県	B	B						【がんセンター】 ●ここ数年、病床稼働率は60%台後半で固定化しているように見えます。 ●診療科によっても稼働率が異なるかと想像します。診療科ごとや病院全体の適正病床数については、見直しはされていますか。【資料5 質問事項等25】
													●精神医療センターについては、レセプト委員会を開催するとともに、未収金の削減などにより、収益確保に取り組んだ。また、児童・思春期病棟、慢性期病棟の稼働率は、目標値を下回るものの、前年度を上回っていることから、総合的に目標を達成していると評価し、Bと判定した。 ●がんセンターについては、後発医薬品を精査し、順次切り替えを行っているほか、リハビリテーション単位数の増加や、入院期間の標準化を図り、増収につなげた。また、緩和ケア病床の病床利用率が向上し、目標値を上回っており、一般病床の利用率が目標値を下回るものの、前年度よりも収益は大幅に増加しているため、総合的に目標を達成していると評価し、Bと判定した。 ●2病院とも、経常収支比率が100%以下であり、現状分析を継続するとともに、病床利用率の向上、入院・外来患者の増加策など、収益確保に向けた取組を早急を実施するとともに、抜本的な改善を行うこと。

評価項目	令和6年度業務実績に係る意見等											
	法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等			
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合				
3 経費削減への取組	B	B	B		井深委員	B	B	B		【精神医療センター】 ●一般競争入札やオープンカウンター方式の積極的な導入や複数年契約などの取組による経費削減を行っていた。		
					海野委員長	B	B	B		【がんセンター】 ●一般競争入札やオープンカウンター方式の積極的な導入やプロポーザル方式による業者選定・複数年契約などの取組による経費削減を行っていた。		
					郷内委員	B	B	B		【本部】 ●大規模病院を2病院運営するスケールメリットを活かした一括入札(消耗品等)について昨年以上に取組み、経費の削減に取り組んでいた。		
					佐藤(和)委員	B	B	B		【精神医療センター】 ●医薬品の適正管理		
					佐藤(裕)委員	B	B	B		【がんセンター】 ●医薬品の価格交渉や診療材料の調達		
					菅原委員	B	B	B		【本部】 ●一般競争入札、オープンカウンター ●燃料の調達		
					富田委員	B	B	B		【精神医療センター】 ●収益減少の影響もあるのだろうが、経費は頑張っており削減できていると思う。		
					正宗副委員長	B	B	B		【がんセンター】 ●材料費が予算を6億円以上回っていることが経費増大の最大の原因と考えられるが、大きな誤差が生じた理由と、今後の対策を伺いたい。【資料5 質問事項等26】		
				県	B	B	B		【精神医療センター】 ●諸般の取組は評価される。			
									【がんセンター】 ●諸般の取組は評価される。			
									【本部】 ●諸般の取組は評価される。			
									●精神医療センターについては、一般競争入札やオープンカウンター方式の積極的な導入により競争性を確保するとともに、複数年契約など有利な契約方法の選定を実施している。また、後発医薬品への切り替えを進めたほか、在庫確認や棚卸、採用薬品の数の削減などにより、薬品管理の省力化と経費削減に取り組んでおり、目標を達成していると評価し、Bと判定した。			
									●がんセンターについては、一般競争入札やオープンカウンター方式の推進のほか、プロポーザル方式による業者の選定や複数年契約など有利な契約方法の選定を実施している。また、契約している業者との価格交渉や、後発医薬品への切り替えを進めるなど、経費削減に向けて適切に取り組んでいることから、目標を達成していると評価し、Bと判定した。			
									●本部事務局については、2病院を運営するスケールメリットを活かし、2病院で使用する物品等の一括入札を行ったほか、複数年契約や多様な契約方法により経費削減に取り組んでおり、目標を達成していると評価し、Bと判定した。			
									●なお、法人においては、経費削減のため様々な取組を行っているものの材料費や人件費などが増加している状況であり、医療の質を維持しながら、新たな経費削減に向けた取組を実施するなど、これまで以上の改善を行うこと。			

令和6年度業務実績に係る意見等

評価項目	法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等	
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合		
第3 予算、収支計画及び資金計画					井深委員				C	●外来収益は予算を上回る収益(+384百万円)を確保した一方で、入院収益については予算を下回る実績(△642百万円)となり、機構全体としては807百万円の赤字計上(予算は約32百万円の黒字)となり、予算比下振れとなっている。 ●医業収益の減少、経費(診療材料費、医薬品費、委託費等)の増加等により、業務活動によるCFがマイナスとなっているため、事業の改善に向けた施策の立案・実践が求められる。
第4 短期借入金の限度額					海野委員長				C	●両病院とも、入院収益が計画を大きく下回っていることが大きな問題である。物価の高騰、先進医療のために高額薬剤の使用が増加したことは致し方ないが、病床稼働率が低迷しているのが大きな問題である。 ●疾病構造が変化し、また、治療法もより低侵襲化した現在において、適正な病床数を再度設定すること、また近隣の病院と機能分化をすることなどは急務である。
第5 出資等に係る不要財産となることを見込まれる財産の処分に関する計画					郷内委員				C	●経常収支比率は目標を未達。医療収支比率は、精神医療センターが目標達成が低かった。 ●純損益は、がんセンターの損益が全体を左右する構造にあり、がんセンターの赤字が全体の赤字を膨らませた。 ●繰越欠損金が21億円に増えた。
第6 前記の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画					佐藤(和)委員				C	
第7 剰余金の使途				C	佐藤(裕)委員				C	●大変な経済状況を背景としているが、2年連続で機構全体として8億円以上の損失を計上したことは残念だった。
					菅原委員				C	
					富田委員				C	●物価の高騰、高額薬品の使用量の増に伴う材料費の増加の影響が大きい等の困難な状況の中ではありますが、機構全体として、経常損益、当期純損益ともに赤字となったことでC評価は妥当と思われます。
第8 積立金の処分に関する計画					正宗副委員長				C	●物価高を始めとする昨今の社会情勢を鑑みると、なかなか劇的に好転することは難しいかもしれません。
					県				C	●精神医療センターについては、入院・外来ともに患者数が計画を下回ったほか、コロナ補助金の皆減、物価高騰による経費の増加、給与改定に伴う人件費の増加などにより経常収支比率が96.2%となっており、目標を下回った。 ●がんセンターについては、入院・外来ともに患者数が計画を下回ったほか、物価高騰や高額薬品の使用増に伴う材料費の増加、委託費の増加などにより、経常収支比率が96.3%となっており、目標を下回った。 ●法人全体として、経常収支比率が95.2%、当期純損益が▲807百万円となっており、目標を下回っていると評価し、Cと判定した。 ●なお、令和5年度及び令和6年度の収支の悪化により、法人の存続にも関わる状況であるため、収支改善が図られるよう、抜本的な対策が急務である。

令和6年度業務実績に係る意見等

評価項目	法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等		
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合			
第9 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置											
1 人事に関する計画				B	井深委員				B	<ul style="list-style-type: none"> ●文書整理や執務環境整備等の定型的業務を処理するため、有期雇用職員1名を雇用・活用していた。 ●退職者を再雇用し、経営効率の高い業務運営体制の構築に努めていた。 	
					海野委員長				B		
					郷内委員				B		●適正な規模の人員配置ができた。
					佐藤(和)委員				B		
					佐藤(裕)委員				B		
					菅原委員				B		
					富田委員				B		●諸般の取組は評価される。
					正宗副委員長				B		
県				B	<ul style="list-style-type: none"> ●法人全体として、医療従事者の迅速かつ柔軟な採用を行うため、病院の実状に応じて、採用試験を実施し、適正な規模の看護師等の確保及び人員配置に努めたほか、障害者雇用については、法定雇用率を上回る達成状況であった。また、定型的業務で有期雇用職員を活用したほか、退職者を再雇用し、経営効率の高い業務運営体制の構築に努めた。さらに、事務職員を対象とした人事評価制度を実施するなど、適切に取り組んでいることから、目標を達成していると評価し、Bと判定した。 						

令和6年度業務実績に係る意見等

評価項目	法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等	
	精神 医療C	がんC	本部	総合	精神 医療C	がんC	本部	総合		
2 就労環境の整備				B	井深 委員				B	●理事長・院長等会議、事務局連絡調整会議、事務局グループリーダー会議を通じて、2病院との情報共有や業務調整等を行っていた。
					海野 委員長				B	●各種ハラスメントの防止に資する研修を行うなど、ハラスメント行為のない職場環境の構築に努めていた。
					郷内 委員				B	●就労環境の整備、ハラスメント研修の開催
					佐藤(和) 委員				B	
					佐藤(裕) 委員				B	●ハラスメントを考える際には次のような医療機関の特殊性を把握して各種対策を講じてほしい。 ①多様な職種があり、パワーバランスが特殊 ②職場内に女性の割合が多いこと ③職場環境の悪化が医療安全に直結すること
					菅原 委員				B	
					富田 委員				B	●諸般の取組は評価される。
					正宗 副委員長				B	●ハラスメント研修の受講率を提示いただけると良いと思います。【資料5 質問事項等27】 ●医師の働き方改革にあわせて、時間外勤務の状況などのデータも提示していただければと思います。【資料5 質問事項等28】
県				B	●法人全体として、ワークライフバランス推進のため、計画的に休暇を取得できる環境づくりに努めたほか、各病院に補助者を配置し、医療従事者の負担軽減を図った。また、時間外保育を引き続き実施するなど、家庭環境への配慮を行ったほか、各種ハラスメントの防止のための研修会を実施し、職員が相談しやすい体制づくりに努めるなど、適切に取り組んでいることから、目標を達成していると評価し、Bと判定した。					

評価項目	令和6年度業務実績に係る意見等												
	法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等				
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合					
3 病院の信頼度の向上	B	B			井深委員	B	B						【精神医療センター】 ●臨床研究病院、専門医研修施設の指定を継続し、研修施設としての体制を整えていた。
					海野委員長	B	B						【がんセンター】 ●認定研修施設等の指定を継続し、研修施設としての体制を整えていた。
					郷内委員	B	B						【精神医療センター】 ●各種医療機関の認定など、研修施設機能を維持している。
					佐藤(和)委員	B	B						【がんセンター】 ●臨床上的倫理的配慮
					佐藤(裕)委員	B	B						【精神医療センター】 ●建替えの計画推進と並行して、地域との連携のための施策を進めてほしい。
					菅原委員	B	B						【がんセンター】 ●「がんであれば、がんセンター」ということが定説になるように、現実の医療も発信も頑張ってもらいたい。
					富田委員	B	B						【精神医療センター】 ●諸般の取組は評価される。
					正宗副委員長	B	B						【がんセンター】 ●諸般の取組は評価される。
				県	B	B							●精神医療センターについては、病院機能に係る自己点検を行ったほか、臨床研修病院、専門研修施設の指定を継続し、研修施設としての体制を整えていることなどから、目標を達成していると評価し、Bと判定した。 ●がんセンターについては、診療報酬算定に必要な不可欠な研修施設認定について、各責任者と情報共有を図り、認定数及び指定数の増加を図ったほか、倫理審査委員会を定期的に開催し、医療倫理の周知・徹底に努めていることなどから、目標を達成していると評価し、Bと判定した。